

ガス溶接技能講習受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 氏名 日山 薫

1. はじめに（目的等）

農場ではガス溶接を用いて設備の修理や工作を行っている。しかし、ガス溶接・溶断作業は可燃性ガスや支燃性ガスを使用することから、溶接装置等の欠陥や不適切な取扱いにより爆発・火災等の災害を発生させる危険性がある。そこで安全な取扱い方等を学ぶためにガス溶接技能講習を受講した。

2. 期間・場所

期間：令和5年11月21日～11月22日

場所：(公社)広島県労働基準協会志和教習所

〒739-0264 広島県東広島市志和町七条栴坂10493-250

3. 参加者等

12名

4. 研修内容

学科

- ・ガス溶接等の業務のために使用する可燃性ガス及び酸素に関する知識
- ・ガス溶接等の業務のために使用する設備の構造及び取扱いの方法に関する知識
- ・関係法令

実技

- ・ガス溶接の業務のために使用する設備の取扱い

5. まとめと感想

学科講習では、ガス溶接に用いる可燃性ガスの分類や特性や危険性について学んだ。また、ガス溶接装置の構造やガス容器の取扱い方法、安全器の取扱い方法について学んだ。

実技講習では、実際に厚さ1mm程度の鉄板の溶接や6mmの鉄板の溶断を行った。

ガス溶接では、逆火によりガス容器からの火炎の吹き出しや容器の爆発、火花による火災などの危険があるため、事故の防止に努めて業務に取り組みたいと考えた。また、積極的にガス溶接・溶断業務に取り組むことで技術の向上に努めたい。